令和４年度　学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立　名草小　学校
作成日	令和　５　年　３　月　７　日

1　教育目標

心豊かで、たくましく生きる子どもを育てる

2　学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	〇学習内容がわかり、基礎的な学力が身に付いた子ども。 〇主体的に学習に取り組む子ども。	〇友達と仲良くし、誰にでもあいさつのできる子ども。	〇基本的生活習慣が身に付き、元気に遊ぶ子ども。	〇地域に向けた情報発信を行い、地域と連携できたか。
重点目標に対する意見	・わかる喜びを感じることが学習意欲につながると思うので、これからも学習内容がわかるように取り組んでほしい。 ・これからの時代は主体的に学習に取り組むことが大切なので取組を続けてほしい。	・友達との関わりが、これからもコミュニケーション力につながるので、しっかり関わって仲良くなる方法をつかんでほしい。 ・コロナ禍のマスクで、口元が隠れているが、あいさつのできる子どもになってほしい。	・朝ごはんもそうであるが、給食もしっかり食べるようになってほしい。 ・運動場で遊んでいる話を多く聞く。	・地域が子どもたちを見守り、育ててくれている。 ・名草地区には、社会の勉強ができる所がたくさんあるので、地域の活用を充実させてほしい。
取組状況に対する意見	・学年間の交流や算数の研究を中心に行っていることで、基礎学力の積み重ねができていると思う。 ・読書活動の推進で、学校司書の方や先生方が本の紹介をして、読書の機会をつくってくれている。	・友達との関りがゲームを通してになっていることもある。学校で鬼ごっこやドッジボールなど集団で遊んでいるのはいいことだ。 ・道徳科の教材で他人の気持ちを考えることのできる子になってほしい。	・給食で行事食があるのが、いいと思う。 ・保健室では、養護教諭の先生が丁寧に対応してくれるので、運動場で安心して遊んでいる。	・新型コロナウイルス感染症の影響で夏祭りなどの行事が実施されていないため、どう復活させていくかが心配である。
取組の適切さの検証結果に対する意見	・毎週２回放課後にフォローアップをしてくれている。授業中は質問しにくいことも質問でき喜んでいる。 ・先生方の励ましもあり、自学ノートに前向きに取り組んでいる。そのために図書館に行って調べるなど相乗効果を生んでいる。	・登下校時に、動物に対する優しい発言、生命を大切にする発言が聞かれた。学校でも学んでいるのだと感じた。 ・あいさつをする子どもが増えてきている。あいさつの大切さを子どもたちに考える機会をもたせてくれている。	・運動場の遊具の点検は月に一回教頭がおこなっている。 ・不審者対応の訓練が行われたのは良かった。 ・防犯カメラを設置してほしい。	・農業体験や地域の見学などを積極的に行う必要があると思う。 ・２時間に分けて（分散で）行われたが、授業参観をしてくれて良かった。 ・防犯カメラがあるといいのではないか。
次年度に向けての改善方法に対する意見	・一人一台端末を使った宿題やオンライン授業があり、学習するきっかけになった。 ・これまでの授業の良さとICTを使った良さを組み合わせた授業をこれからもお願いしたい。	・情報モラルについては、親もわからないところがあるので、講演会などで、スマホの上手な使い方などを取り上げてほしい。 ・コロナ禍で、多人数で集まることを避けることが多かった。多人数で取り組む良さも、今後少しずつ行ってほしい。	・給食は、個人差があると思うが、バランスよく食べてほしい。 ・運動場や山で、しっかり運動をし、体力をつけてほしい。	・コロナ禍で学校に行く機会が少なかったので学校の取組が分かりにくかった。 ・保護者や地域の方が学校に来る機会を増やして、地域とともにある学校になるよう、つなげてほしい。

3　その他のご意見

若宮神社から南に向かう道の交通量の多さとスピードを出しているバイクや軽自動車が多いのが大変気になる。交通規制をかけてほしいが、無理なら、警察の方の助言をいただきたい。

学校前も、道幅が狭く、スピードを出しているバイクや自動車がある。踏切もあるので取り締まりをしてほしい。